

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	12-042	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Long working hours and alcohol risk among Australian and New Zealand nurses and midwives: a cross-sectional study. オーストラリアとニュージーランドの看護師、助産師における長時間労働と飲酒リスク： 横断研究		
執筆者		
Schluter PJ, Turner C, Benefer C.		
掲載誌 (番号又は発行年月日)		
Int J Nurs Stud. 2012;49:701-9.		
キーワード		
アルコール、疫学、看護師と助産師、勤務時間		
要 旨		
背景: 長時間勤務と有害な飲酒との関連については明らかではない。この関連を検討するため、オーストラリアとニュージーランドの看護師・助産師を対象とした大規模コホート研究において横断的分析を行った。		
方法: 計量心理学的に標準化された評価方法を用いて飲酒、飲酒問題、および他の重要な変数を、電子媒体を用いて調査した。関連の検討にはロジスティック回帰分析を用いた。		
結果: 本研究は 4,419 人のオーストラリア人と 867 人のニュージーランド人を対象とした。両群において、長時間勤務状況は共通しており、週 40-49 時間勤務は全体の 33.2%、週 50 時間以上の勤務は全体の 7.5%に認められた。全体で対象者のうち 13.9%に有害な飲酒が確認された。粗でも交絡因子を調整後でも長時間勤務と有害な飲酒との間に有意な関連を認めた。週 40 時間未満勤務の群と比較して、週 40-49 時間勤務の群では、有害な飲酒のオッズ比が 1.17 (95%信頼区間 1.01-1.36)であった。また、週 40-49 時間勤務の群と比較して、週 50 時間以上勤務の群においても、同様であった。		
結論: 多くの看護師および助産師は、長時間勤務に従事し、また有害な飲酒をしている。1970 年代後半以降、オーストラリアではフルタイムの勤労者の平均勤務時間は増加傾向にある。もし長時間勤務の抑制ができなければ、予防的、協力的、またエンパシー的な介入を目指す労働者組織の活動を行う必要がある。これは、患者および看護師・助産師自身の両方を守るためである。		